

下北教育事務所主管事業へ参加や御協力をいただき、ありがとうございます。8月から11月に実施した事業の概要を紹介いたします。

## 第4回 AOMORI 小・中学校外国語教育ワークショップ 9月18日(木) おつ来さまい館

○目的 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組むため、AOMORI ENGLISH PACKAGE の活用を通して、「指導と評価の一体化」及び外国語教育における管内小・中学校の連携強化を図る。

県教育庁学校教育課指導主事から、情報提供及び指導のポイントの確認をしていただきました。小・中連携の視点から Small Talk を取り上げ、参加した先生方が実際に活動しました。

ワークショップでは、学びをつなぐ小・中学校の連携について情報交換を行い、今後実践できそうなことなどについて積極的な意見交換が行われました。

### ♪参加者の声♪

小学校：小学校での外国語学習がどのように接続されていくのか、具体的なイメージをもつことができた。小中でお互いの授業や学習内容の共有が必要であることが分かった。

中学校：小学校と情報共有することで、より生徒の力を伸ばす指導につなげることができると思った。小から中への移行期にどのようなポイントでつまづくのかが分かったので、今後の指導に生かしたい。

## 小・中学校道徳教育研究協議会② 11月11日(火) おつ市立第三田名部小学校

○目的 小学校及び中学校における道徳教育の充実徹底を期するため、道徳教育実施上の諸問題を研究協議し、その解明を図り、教員の実践的指導力の向上を図るとともに、保護者や地域住民との交流を深め、相互の理解を図ることにより、学校及び地域社会における道徳教育の一層の充実に資する。

○オリエンテーション 「本校の道徳教育について」

○公開授業 1年1組「ともだちをたいせつにするころ(B 友情、信頼)」

6年2組「家族の幸せ(C 家族愛、家庭生活の充実)」

二つの授業を公開していただきました。児童と教師の望ましい人間関係が構築されており、教師の発問に対して児童がしっかりと考え、それを深めていく授業となりました。

### ♪参加者の声♪

周りに目を向けて考え、共感していく素地が育っていると感じた。すぐに生かせそうな実践、こどもたちへの声の掛け方や学級経営の在り方など、大変参考になった。道徳の楽しさや奥深さを改めて実感した。

## 初任者研修「特別活動研修」

○目的 初任者研修教員に対する、特別活動の授業参観と研究協議及び講話を通して、特別活動の理解を深め、教員としての実践的指導力の向上を図る。

### ◆中学校：10月30日（木）むつ市立大平中学校

○オリエンテーション「大平中学校の特別活動について」

○一般授業 1年3組（2）オ「学級の給食の課題を解決しよう」

3年2組（2）ア「自分と仲間のよさを認め、さらに深めよう」

○集中授業 2年1組（3）イ「今の自分に必要な取り組みは何か」

三つの授業を公開していただきました。授業参観後の研究協議では、初任者が授業での工夫や悩みについて質問し、活発な研究協議となりました。また、校長先生の御講話では、これまでの実践や思い、特別活動の教育的効果についてお話しいただきました。

#### ♪参加者の声♪

校長先生の講話では、実践してきた特別活動や体験学習についてのお話があった。そのどれもが、生徒・教師どちらにとっても魅力的な活動であり、そういった活動を行うためには、綿密な事前準備と事前確認が必要不可欠であることを痛感した。また、特別活動というのは全員が主役であり、「自分に関係ないということはない」といった意識が生徒の中で自然に形成されるよう、支援や声掛けをする必要があると感じた。「心動く特別活動」という校長先生の言葉通り、生徒の心を動かし続ける教師でありたいと強く感じた。

### ◆小学校：11月20日（木）むつ市立川内小学校

○オリエンテーション「本校の特別活動について」

○一般授業 1学年（3）イ「おそうじめい人になろう」

6学年（1）ウ「感謝の気持ちを伝えよう」

○集中授業 3学年（2）ウ「元気に登校できるために」

研究協議では、指導や話合いの工夫における悩みについて積極的に協議し、授業者からの助言に熱心に耳を傾けていました。校長先生の御講話では、「困っている子供？困っている先生？」と題し、自身の経験から得た児童理解についてお話しいただきました。

#### ♪参加者の声♪

校長先生の講話では、児童への行動支援について学んだ。気になる行動やこどもの困っていることは見逃さず、一人一人に合った支援をしていくことが大切であると改めて感じた。支援をしていく際には、一人で抱え込まずに周りの先生方や保護者と一緒に方法を考え、実行していきたい。未来のことを考え、こどものよい行動を増やしていけるような学級経営をするために、日々の生活の中でこどもとの会話を大切にしていきたい。